

観賞温室第2室 企画展示

- 7月11日(水)～9月2日(日)  
「食虫植物展 ～ふしぎ 不思議 食虫植物～」
- 9月5日(水)～11月18日(日)  
「オータムガーデニングショー 魅せる葉 オーナメントリーフ」
- 10月10日(水)～11月18日(日)  
「植物奇譚 越後七不思議の謎を追う」

観賞温室第3室 住宅内展示

- 7月16日(祝・月)まで「押し花作品展」  
出展：森のアトリエ
- 7月18日(水)～8月5日(日)「竹・蔓・皮 工芸展」  
出展：藤春工房
- 8月7日(火)～8月19日(日)「木の恐竜と自然素材のオブジェ」  
出展：NPO法人お山の森の木の学校
- 8月21日(火)～9月2日(日)「博物館実習生展示」
- 9月5日(水)～9月23日(日)「レカンフラワー 一季節の花たち」  
出展：田巻 恵
- 9月25日(火)～10月8日(祝・月)「ようこそハワイアンキルトの楽園」  
出展：伊藤真里子ハワイアンキルト教室

特別展示●観賞温室第3室2階

- 7月22日(日)まで「ミニガーデンコンテスト作品写真展」
- 7月22日(日)まで「絶滅危惧植物展」
- 7月24日(火)～9月2日(日)「熱帯果樹展」
- 8月28日(火)～9月2日(日)「魚沼の写真展」

特別展示●観賞温室第3室住宅花壇

- 8月上旬「大輪朝顔展」協力：西島シーニアクラブ大和会

特別展示●花と緑の情報センター 1階

- 8月28日(火)～9月2日(日)「変化朝顔展」  
協力：新潟変化朝顔同好会

「夏の夜間開園」8月14日(火)・15日(水)

開館時間を20:30まで延長(入館締切20:00)  
夕方以降の涼しい時間帯に、夜に花を咲かせて香りを放つ植物の夜の世界をゆっくりと観賞ください。熱帯果樹の試食会(18:00～なくなり次第終了)や子どもも緑日(18:00～)も開催します。

「秋の植物園まつり」9月16日(日)・17日(祝・月)

2日間は65才以上無料  
会場：エントランス広場ほか  
内容：バックヤードツアー、自然素材を使った体験教室、オオオニバス試乗体験、古本市、植物・食品販売、アキハ・アウトドアスポーツフェスティバル(16日のみ、秋葉区主催)

●観賞温室利用案内

開館／9:30～16:30(入館締切16:00)  
入館料／大人600円、シルバー(65歳以上)500円、  
高校生・学生300円(要学生証提示)、小中学生100円  
※土日祝日は小中学生の入館料無料

●観賞温室開館カレンダー(●休館日)

7	8	9
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 ● 2 3 4 5 6 7	日 月 火 水 木 金 土	1 2 3 4 5 6 7 8
8 9 10 11 12 13 14	5 ● 6 7 8 9 10 11	9 10 11 12 13 14 15
15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	16 17 18 19 20 21 22
22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	23 24 25 26 27 28 29
29 30 31 . . . . .	26 27 28 29 30 31 .	29 30 31 . . . . .

●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路／磐越自動車道新津ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分  
一般道路／(新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分  
J R／信越線古津駅から徒歩約25分  
バス／区バス:新津駅東口から「うららこすど」行き  
「美術館・植物園前」下車徒歩約1分  
新潟交通:新津駅東口から「矢代田」経由白根・湯東営業所行き  
「新津美術館入口」下車徒歩約10分

花と緑の教室

会場(または集合場所):花と緑の情報センターまたは屋外テント  
※要申込(開催日の1カ月前から電話受付)

- 9月2日(日)13:30～15:00 「変化朝顔」を楽しむ  
定員:30名 参加費無料 講師:石川昇(新潟変化朝顔同好会)
- 9月23日(日)14:00～15:30 カフェ deカルチャ  
第2回「お散歩カメラ講座～デジカメ持って植物園を楽しもう～」  
定員:10名 参加費:1,000円(スイーツ付) ※会場:温室内レストラン  
講師:小林由美(パソコンインスタクター)

夏休み体験教室 会場:観賞温室第3室ほか(入館無料エリア)  
時間:10:00～15:00 ※当日随時受付 受講料は変更になる場合があります

- 7月29日(日)フラワーアレンジ「希望というトキの灯りのデザイン」  
受講料:100円～300円程度 マミフラワーデザインスクール
- 8月4日(土)・5日(日)「竹のオカリナと竹の堅笛作り」  
受講料:各500円 藤春工房
- 8月11日(土)・12日(日)「アメリカンフラワー体験教室」  
受講料:400円～800円 アメリカンフラワー
- 8月12日(日)～19日(日)「夏休み木とふれあう工作教室」  
受講料:400円～3,000円 NPO法人お山の森の木の学校
- 8月25日(土)・26日(日)「親子でハーブの手作り楽しもう!」  
受講料:600円 ジャパンハーブソサエティ新潟支部

夏休み親子教室

- 7月28日(土)8:00～11:00「植物標本をつくろう」  
定員15組(小学1～3年対象) 参加費無料
- 7月29日(日)10:00～11:30「食虫植物を育てみよう①」  
定員:15組 参加費500円
- 7月29日(日)13:30～15:00「食虫植物を育てみよう②」  
定員:15組 参加費500円
- 8月4日(土)8:00～11:00「植物標本をつくろう」  
定員15組(小学4～6年対象) 参加費無料
- 8月4日(土)13:30～14:30「雑草染めハンカチをつくろう」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費100円(友の会会員無料)
- 8月5日(日)10:00～11:30「葉っぱで遊ぼう」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費300円
- 8月5日(日)13:30～14:30「かたくり粉の秘密」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費無料
- 8月11日(土)10:00～11:00「藍染めハンカチをつくろう①」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費100円(友の会会員無料)
- 8月11日(土)13:30～14:30「藍染めハンカチをつくろう②」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費100円(友の会会員無料)
- 8月12日(日)10:00～11:00「植物から紙をつくろう①」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費無料
- 8月12日(日)13:30～14:30「植物から紙をつくろう②」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費無料
- 8月18日(土)10:00～11:00「葉っぱもようのハンカチをつくろう」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費100円(友の会会員無料)
- 8月18日(土)13:30～14:30「顕微鏡で見てみよう」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費無料
- 8月19日(日)10:00～11:00「植物がピンとしているわけ」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費無料
- 8月19日(日)13:30～14:30「葉脈標本をつくろう」  
植物園友の会主催 定員:15組 参加費無料

申込方法●往復ハガキでお申込み下さい。往復ハガキ1枚につき1教室のみ。  
応募多数の場合は抽選となります。●往復ハガキに希望する教室の①開催日と教室名、②参加希望者全員の氏名(ふりがな)と年齢(保護者1名につき子供2名まで)、③日中連絡の取れる電話番号、また返信面に住所と氏名をご記入の上、7月18日必着で、以下にお送りください。  
956-0845 新潟市秋葉区金津186 新潟県立植物園「夏休み親子教室」係  
●結果は7月20日以降に発送いたします。

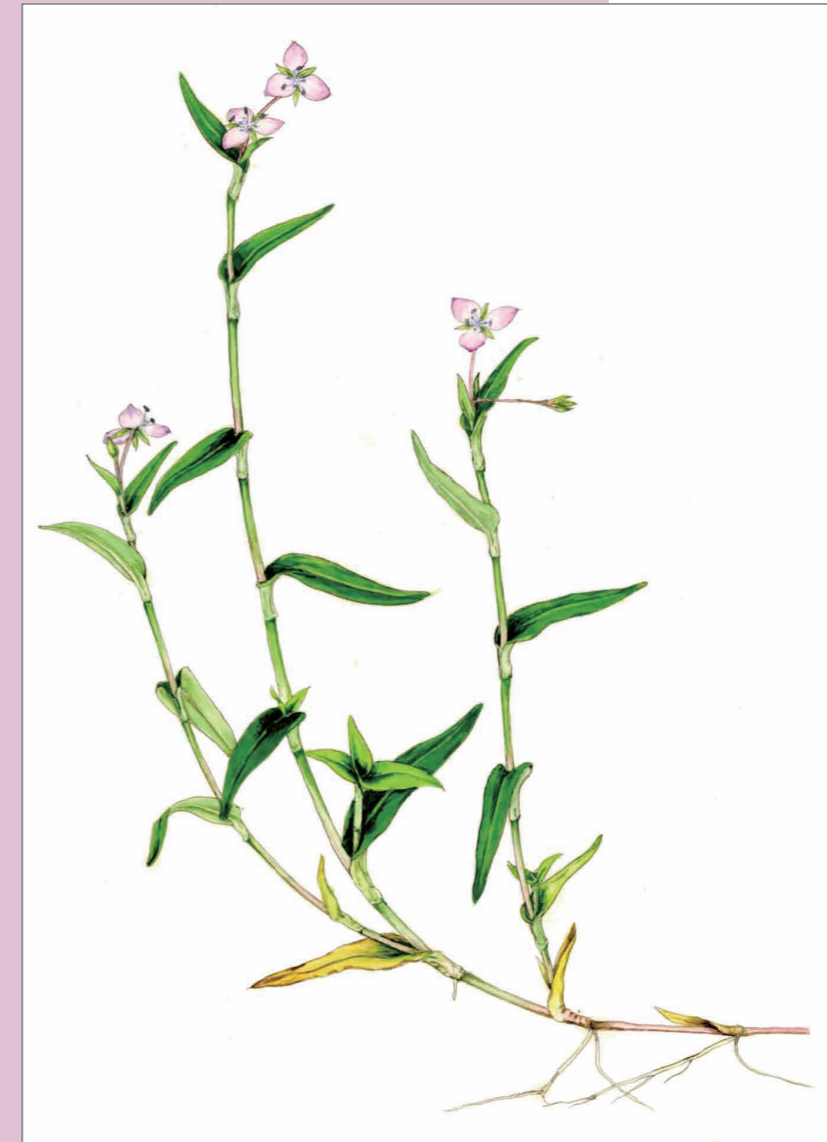


新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地  
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410  
Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp  
ホームページ http://botanical.greenery-niigata.or.jp/  
指定管理者 国際総合学園・都市緑花センターグループ



植物園だより



イボクサ  
Murdannia keisak

ツクサ (*Commelina communis*) ほど一般には知られていが、ツクサ科の一年草である。花卉の根元が白く、先へ向かうほどに桃色が濃くなり、先に至っては深い桃色となる美しい花を咲かせる。ただ、花が小さいため見栄えがしない。

今でも一年中水の切れることのない排水路や蓮田で見られることから、昔の水田地帯にはたくさん生えていたと思われる。和名は、葉の絞り汁をいぼに付けると取れることに由来する。(田中良明)

富樫信平画 S55.9.5 荒川町産





新潟県にも自生するモウセンゴケ

ハエトリソウ ウツボカズラの仲間 (Nepenthes ventricosa)

企画展示



過去の食虫植物展の様子



# 食虫植物展 ふしぎ 不思議 食虫植物

平成24年  
7/11(水)~9/2(日)

夏休み特別企画として子供たちに大人気の食虫植物展。今年は「ふしぎ 不思議 食虫植物」をテーマに開催します。

どうして植物は虫を食べるの?どうやって虫を捕まえるの?虫を食べないとどうなるの?など、食虫植物には不思議や謎がいっぱいです。

今年の展示では、普段見ることのできない、瞬時に虫をはさみ込むハエトリソウ、葉の表面がネバネバのモウセンゴケ、大きな袋を持つウツボカズラやサラセニアなどを展示します。食虫植物は何種類くらいあるの?どこに食虫植物は生えているの?新潟県にも食虫植物は生えているの?など様々な疑問についても解説します。

観察コーナーでは、サラセニアの断面やウツボカズラの内側などを見ることができます。大きなハエトリソウにはさまれたり、モウセンゴケのベタベタなど、人気の体験コーナーも登場します。

食虫スタンプラリーに参加してもらえ、食虫植物カードも大好評。親子で楽しめる、見どころ満載の食虫植物展に是非ご来場下さい!

## ■ オータムガーデニングショー 魅せる葉オーナメンタルリーフ ■ 植物奇譚 越後七不思議の謎を追う

存在感のある形、さまざまな色の葉をもつ植物は、庭づくりには欠かせない要素であり、観賞用に多くの品種が作り出されています。

今回の展示では、カラーリーフ植物を中心とした多種多様な植物による空間を創出し、それぞれの特徴や色や形を考えた組み合わせ、また葉の利用方法を紹介しますので、これまでとはすこしちがう植物の楽しみ方を味わっていただけます。

また、10月10日からは、会場の一部を入れ替え、新潟に伝わる越後七不思議についての展示を行います。越後七不思議は、親鸞聖人が越後国国府(新潟県上越市)に流された時の奇譚で、ほとんどが植物にまつわるお話です。展示では、これらの植物を紹介し、その歴史を紐解いていきます。

秋の植物園をぜひご家族でお楽しみください。

秋の  
企画展示



越後七不思議のひとつ梅護寺(阿賀野市)の梅護寺数珠掛杉

園内  
ウォッチング

### 温室●鮮やか! 華やか! ハイビスカスの仲間

夏の熱帯植物ドームは南国ムードいっぱい。葉は緑に茂り輝き、鮮やかな花がそこかしこに咲き、甘い香りが漂っています。なかでも気分を盛り上げてくれるのがハイビスカスの仲間です。

フウリンブツウゲは、珊瑚色のフリルのある花びらが反り返り、長い雌しべが風に揺れる姿が名前のとおり風鈴のようでかわいらしい花です。音が鳴りそうで通り過ぎるたびに思わず揺らしてしまいます。

ハイビスカスは一つ咲いただけでも周りが明るくなる豪華な花ですが、残念ながら一日でしぼんでしまいます。ハワイ州の花でもあるハイビスカスを現地の人が髪飾りにしているのをよく目にしますが、飾り方にはちゃんとした意味があります。パートナー募集中の人は右の耳の上に、パートナーのいる人は左につけますので、皆さんも飾る時には気をつけてください。

またハイビスカスはハーブティーとしてもよく知られています。ビタミンCのほかにクエン酸やミネラル類が豊富で、美容だけでなくスポーツ時の水分補給にもぴったりの飲み物です。ティーの鮮やかな赤色は、私たちがよく目にする真っ赤な大輪の花そのものですが、じつはこの色はハイビスカスの別の仲間の一年草であるローゼル(Hibiscus sabdariffa)の赤い果実を利用して。ローゼルの花は白なので意外ですね。

ほかにも同じアオイ科のアブチロンやウナツキヒメフヨウもたくさん咲いています。真夏のヒロインたちにぜひ会いに来て下さいね!  
(田代博子)



上:ハイビスカス  
中左:アブチロン(Abutilon cv.)  
中右:ウナツキヒメフヨウ  
(Malvaviscus arboreus var. mexicanus)  
下:フウリンブツウゲ  
(Hibiscus schizopetalus)

### 園地●斑入り植物 ~花のように葉を愛でる~

庭にアクセントを加える植物の一つに斑入り葉があります。斑入り葉のオオバギボウシやアオキ、アマドコロなどは庭植えによく利用され、今では西洋にも広く普及していますが、斑入り植物を観賞する文化は日本で生まれたものです。万年青(オモト)や春蘭(シュラン)、紫金牛(ヤブコウジ)は日本が誇る伝統的な斑入り植物です。

江戸時代の日本は世界でも最も園芸が進んでいたとされていますが、西洋の園芸とは大きく異なる特徴がありました。それは、日本では交配による品種改良が発達しなかったということです。西洋では植物にも交配技術を用いたため、新たな交配種が次々と生み出されました。一方、日本では野生の群落や栽培する植物の中から偶然見つかった変りものから観賞価値の高いものを選び出して行きました。

斑とは、葉などの組織の一部が葉緑素を欠き、白や黄色などと斑(まだら)状になったものです。その原因としては、動く遺伝子(トランスポゾン)による作用や細胞質内に含まれる葉緑体中の遺伝子の突然変異、ウイルス感染による病候などによります。植物の斑は交配によっては維持されにくいので、裏を返せば日本に植物の変りものを採る文化があったからこそ残されたと言えるのではないのでしょうか。

と、難しいことはさておき、斑入り植物は暑い夏に涼を感じさせてくれる存在で、ご家庭にも是非取り入れてほしいものの一つです。斑は葉一枚ごとに現れ方が異なりますので、お気に入りの模様が見つかったら花同様にうれしい気分になると思いますよ!

(久原泰雅)



上:イタヤカエデ'薄曇'  
中:江戸時代に流行した斑入りの古典植物(ヤブコウジ'日の司')  
下:宿根草花壇の斑入りのギボウシ(サガキエボウシ)



地元金津小学校「守ろう 残そう 金津の自然」をテーマにした年間の総合学習を支援



植物をモチーフとした工作などの体験教室



石川県立能登産業技術専門学校でのツツジに関する講義



「ミズアオイ植栽事業」(新潟市東区)では平成21年から3年にわたり東区内の小学校全校に出向き講義を行う



熱帯植物ドームでワークシートをつかった学習活動



好評の教室「植物園花散歩」

熱帯植物ガイドツアー



シードポッド

## NEWS 1 植物園の教育活動

植物園は植物を集めて展示するだけでなく、調査研究や絶滅危惧植物の保全活動を行っています。それに加えて、近年重要視されているのが、生きた植物を多数栽培している特徴を生かした教育活動です。

現在、当園で行っている教育活動には、学校等の学習活動への支援や、生涯学習の場の提供があります。現在、植物園では、植物の解説や教室の開催、学校での授業や植栽指導などを行っています。

子どもから大人まで、植物に対する興味や関心を深めてもらえるよう、今後もこれらの活動を充実させ進めていきたいと考えています。ぜひご利用ください。(林 寛子)



夏休みの体験教室

## NEWS 3 夏休みは植物園へ

今年の夏は大好評の食虫植物展だけではなく、親子で参加できる教室が大充実!フラワーアレンジをはじめ、竹とオカリナと竹の堅笛作り、アメリカンフラワー体験教室、木とふれあう工作教室、ハーブの手作りなど、当日でも参加できる体験教室が目白押し!

さらに8月14日(火)と15日(水)の2日間は20時30分まで「夏の夜間開園」を行います。夜に咲く花や香りだけではなく、熱帯果実の試食会や子供縁日も開催しますので、涼しい夜のひと時を楽しくお過ごしいただけます。

また、日本最大級の水草水槽のある水中庭園もお子様に大人気です。涼しげに揺れる水草の形態や生態を学べるだけではなく、メダカや熱帯魚、エビも観察することができます。

この夏は親子で楽しめる植物園に是非お越しください。(渡辺弘友)



## NEWS 2 ジョウオウヤシの切り倒し

熱帯ドームの中で最も背が高いのが、樹高20mのジョウオウヤシです。

このヤシは樹高が高くなりすぎ、葉の剪定等の管理作業に支障をきたしはじめていたため、以前より伐採の検討をしていたところでしたが、4月の半ばに先端が曲がっていることに職員が気付きました。

このままでは倒伏危険性の恐れがあることから、まず4月23日に葉だけを切り落としました。これと平行して県への報告と伐採の許可を受け、5月21日の休館日におよそ15mの高さの足場を組み、伐採作業に入りました。7段に組まれた足場を恐る恐る登ると、一人なのにもかかわらず足元がグラグラと揺れます。足場の最上部に立つと滝の落ち口やトックリキワタの梢が下に見え、隣に生えるジョウオウヤシの花も間近で撮影することができました。作業はチェーンソーで幹を短く切りながら丈をつめてゆくのですが、その前に樹皮を剥ぎ取り、硬い葉柄などを取り除く作業を終えなければなりません。なんと取り除いた皮などが2トラック1台になりました。それでも午後5時前には4mほどを切り落とし、休館日に作業を進め5月28日に根元まで切り終わり、翌29日に足場を撤去しました。(田中良明)

## NEWS 4 アジサイの人気品種決まる

今年のアジサイ展では、新しい品種の人気投票を行いました。投票総数1863票。上位に輝いたのは以下の品種です。ご投票いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

- 1位/ダンスパーティー
- 2位/てまりてまり
- 2位/ティンカーベル
- 4位/ジャパーニュミカコ
- 5位/フェアリーアイ

上位5品種に投票いただいた方の中から抽選で各品種2名様にアジサイをプレゼントするというこの企画。当選者には、7月中にお手元に届くよう発送いたします。

※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



1位 ●ダンスパーティー

2位 ●てまりてまり

2位 ●ティンカーベル

4位 ●ジャパーニュミカコ

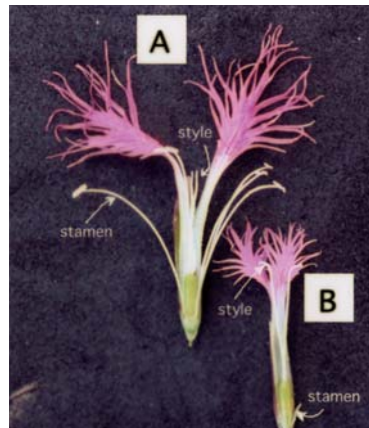
5位 ●フェアリーアイ



## 新潟の植物 カワラナデシコ

*Dianthus superbis*  
var. *longicalycinus*

カワラナデシコ(両性個体)



カワラナデシコの両性花(A)と雌花(B)



カワラナデシコ雌性個体の雌しべ

カワラナデシコは草丈が30~60cm程になり、本州以西の河原や日当たりのよい斜面などに分布する多年草で、秋の七草の一つにもなっています。県内では海岸沿いに多く、ピンク色の花弁が深く切れ込む花は初夏から秋にかけて開花します。

別名のヤマトナデシコは、可憐で繊細だが、心は強い日本女性を指す言葉としても用いられ、サッカーの女子日本代表チーム「なでしこジャパン」を思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。

このカワラナデシコには雄しべと雌しべのある花をつける個体(両性個体)の他、雌しべしかない花をつける個体(雌性個体)があり、一つの集団に雌性個体が数%~40%ほど存在します。

その他にも両性個体の花では、同じ花の花粉で受粉しないように、雄しべが成熟した後に雌しべが成熟する仕組みも備わっています。ところが雌個体を観察すると、つぼみの状態の時から成熟した雌しべが飛び出ていることが多く、なんと気の早い花なのだろうと感じたのを覚えています。私は両性個体と雌個体がこの植物で存在する理由がこの開花習性に隠されているのではないかと考えていますが、未だ結論が出せずにいます。このほかにも花を良く観察すると様々な仕組みが隠されています。皆さんも謎解きに挑戦してはいかがでしょうか!

(久原泰雅)

## みんなの趣味の園芸セレクション 月下美人を昼に咲かせる

サボテンや多肉植物には「何々丸」と言うような勇ましい漢字名がついていますが、月下美人の漢字表記を見るとこれもサボテンの類として認識されているのだと思います。

月下美人を昼に咲かせるには、昼夜を逆転させる処理を行ないます。

- 1) 開花10日前、蕾が長さ10cm程度になった頃に昼夜を逆転させる処理を開始します。
- 2) 当園の場合は、19:30 ~ 4:15に家庭で使う普通の蛍光灯20W2本で株を電照しています。感光性は高く、この程度の光で充分なようです。
- 3) 4:15 ~ 19:30までは暗黒下に置きます。  
当園では暗室に置き、タイマーで蛍光灯をつけていますが、家庭ではダンボール箱をかぶせて暗くすると良いと思います。密封して蒸れてしまわないように注意が必要です。
- 4) これを開花が見込まれる日まで、10日間ほど続けると、昼に咲かせることができます。

当園では午前9時ごろに開花しますので、暗黒処理上の夜がはじまる4:15から5時間後に開花することになります。昼夜の時間設定を変更すれば、好みの時間に開花させることができると思います。

是非チャレンジしてみてください。(倉重祐二)

### ●後から長い一言

どうも月下美人は皆同じ日に咲くようです。以前他の植物園の友人と話していて、元は同じ個体なんではないかと言う結論に至りました。当園の近くは、日本最大の花木生産地で、月下美人を専門に生産されている方もいらっしゃいます。このお宅でも当園の開花日とほぼ同時期に咲いていました。

本当に元は1個体なのでしょう? 不思議な気がします。どなたかご存知の方がいらっしゃったら、お聞きしたいと思います。

※後に富山県中央植物園の方から同一個体かどうかがありました。

※みんなの趣味の園芸 2011年8月24日 新潟県立植物園 植物園日記より転載



昼に咲かせた月下美人

この程度の明るさ(20W蛍光灯2本)で電照すれば良い

最新の植物園日記は<http://www.shuminoengei.jp/?id=3078>でご覧になれます。また、平成22年度分の日記をまとめた電子書籍を無料で公開しています。<http://p.booklog.jp/book/32962>

## 友の会通信

4月15日(日)に友の会総会が開催され、30名の会員のみなさんにご参加いただきました。

新しい会長に新潟大学名誉教授の森田竜義先生が推薦され、お引き受けいただくこととなりました。また、友の会発足から昨年度までご尽力いただいた前会長の石沢進先生には、今後顧問として活動を支えていただくことになりました。

24年度の新事業として、主催教室の開催や温室内での常設展示、オリジナルグッズ販売などが挙げられ、活動のさらなる活発化が期待されます。

総会後に、森田先生から「タンポポの謎を追って」の講演をいただき、会員のみなさんは熱心に聞き入っていました。



石沢前会長へお礼の花束贈呈



新会長森田先生の講演

### イベントへの参加

#### 花絵づくり



完成した花絵

#### ●植物園まつり出店

5月4、5日の「植物園まつり」において、チューリップ花絵づくり、苗の販売を行いました。4日は雨模様の中、花摘みと花絵づくりが行われ、雨のため水上花絵はかきませんが、池の対面の芝生広場に配置された花絵は、遠くからも来園者の目を楽しませていました。

#### ●花ふるフェスタ「ミニガーデンコンテスト」出展

いつ花ふるフェスタ実行委員会主催の「ミニガーデンコンテスト」に出展しました。コンテストへの出展は3回目となります。昨年に引き続き今年も最優秀賞を受賞しました。



コンテスト出店作「花の遊園地」

#### ●春の植物観察会に行ってきました。

6月10日に妙高市の笹ヶ峰高原夢見平で観察会を行いました。低地では4月に開花するシラネアオイやサンカヨウの花を見ることができました。



サンカヨウの花

観察風景

## 新潟県立植物園 友の会 会員募集

植物園友の会は植物に興味があり、植物園の事業・活動に賛同いただける方の会です。会員を随時募集しています。詳細は友の会事務局(新潟県立植物園 TEL.0250-24-6465)までお問い合わせ下さい。

年会費(4月より翌年3月まで)

●個人会員 2,000円 ●ファミリー会員 2,500円 ●賛助会員(一口) 10,000円

会員特典:植物園観賞温室の入館無料、植物園だよりなどの送付

新潟県立植物園 友の会ブログを開設しています。会の最新情報、会員のつぶやき、発見などをどんどん更新していきます。ぜひ、ご覧下さい。情報はE-mail:bgn.tomonokai@gmail.comまで。

ブログURL [http://blogs.yahoo.co.jp/bgn\\_tomonokai](http://blogs.yahoo.co.jp/bgn_tomonokai)

賛助会員(わたし達は「新潟県立植物園 友の会」の活動を応援しています)

●株式会社アート環境設計 ●株式会社アート